

地域別概要

4 三保半島・折戸湾沿岸

■地域の特性

想定震度	人口計	約 13,000 人	浸水想定区域内の要配慮者施設	土地利用	畑、山林、住宅用地、商業用地、工業用地、公益施設用地
6強～7	浸水域人口	約 9,700 人	児童クラブ・学校： 1 施設	河川	大橋川
津波高	高齢者人口	約 4,700 人	診療所・病院： 9施設	主な施設	港湾施設、工場（金属製品製造業等）、三保内浜海水浴場、大学、三保松原
（海岸到達時） 最大9m	要配慮者数	約 5,200 人	介護・福祉施設：10施設 （平成 28 年 3 月末時点）		

※人口計、浸水域人口：H28.3.31 住民基本台帳
高齢者人口、要配慮者数：H28.10.18 静岡市の要配慮者リスト

●地域の特性まとめ

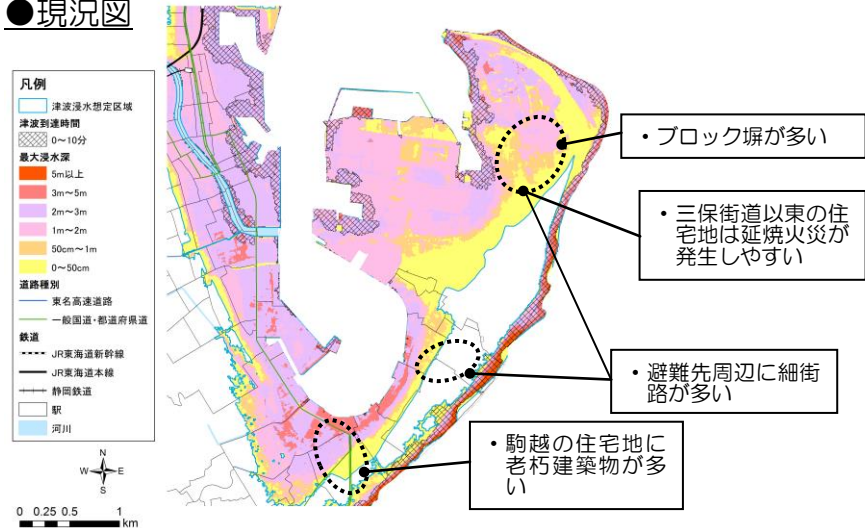
折戸湾沿岸には工場や倉庫等が立地し、その後背地に住宅地や介護・福祉施設などの要配慮者施設が立地しています。世界文化遺産富士山の構成資産である三保松原には、多くの観光客が訪れるほか、大規模な工場や大学があるため、住民の転出入も比較的多く、地理不案内な観光客や住民が多い地域といえます。また、高齢者が多く居住する地域でもあります。



■地域の課題

浸水想定区域	・駒越の折戸湾に面している商工業地、その後背地にある住宅地にまで浸水域が広がり、浸水深が深い。 ・三保半島内湾側で浸水域が大きく広がっている。 ・特に三保内浜海岸や工場地、大学の浸水深が深い。
津波到達時間	・折戸湾に面して津波到達時間が 10 分未満の区域があり、商工業地や海水浴場などが立地している。 ・住宅地（折戸湾奥、三保・内海）は、全般的に津波到達時間が 15 分以上である。
津波による建物倒壊・人的被害	・三保半島北部と折戸湾に面している地域は、津波による建物倒壊が大きい。 ・沿岸部の商工業地や住宅地、観光地に、人的被害が予想される。
地震動による建物倒壊	・震度は他の地域よりも小さいが、折戸湾に面する地域や三保半島の北側などの浸水域内で、建物倒壊が予想される。
幅員の狭い道路の分布	・住宅地に幅員 5.5m 未満の道路が多い。 ・避難先周辺に幅員 5.5m 未満の道路が多い。（三保・内海） ・浸水域外方向の道路に幅員 5.5m 未満の道路が多い。
延焼危険度	・三保街道以东の住宅地に古い建物が密集しているため、燃え広がりやすい。
避難施設の確保	・三保地区は、避難ビルとして利用可能な施設も少なく、避難タワー以外の選択肢が少ない。 ・一部、津波からの避難が困難な地域がある。
迅速かつ安全に避難できるか	・三保半島北部と駒越の住宅地で、延焼火災の危険性があることや、細街路と地震動による建物倒壊を考えると、避難路が機能しない可能性がある。 ・特に三保の住宅地には、ブロック塀と古い建物が多いため、避難路の閉塞が多発する可能性がある。 ・津波到達時間が 10 分未満の区域に、多くの工場地が立地するため、早期避難ができる体制が必要である。
その他	・要配慮者が多い地域である。 ・地理不案内な観光客や転入してきた大学生が多い。

●現況図



●地域の課題まとめ

折戸湾岸部は海拔が低く、浸水深が2 m以上の区域が広がり、一部には3 m を超える区域も存在しています。また、折戸湾側では津波到達時間が 10 分未満の区域もあり、津波による建物倒壊や人的被害が懸念されます。住宅地は、古い建物が多く、一部の区域では密集しているため、地震動による建物倒壊や延焼火災が懸念されます。細街路も多いため、地震動により倒壊した建物やブロック塀などで避難路が塞がれ、避難行動が阻害される可能性があります。一部には、津波からの避難が困難な地域があります。

■地域別方針

地域住民のみならず、学びや工業の拠点における転入者、観光客なども含む多様な人々向けの避難誘導の実現

清水港の防潮堤の粘り強い構造への改良、清水海岸（三保海岸）の海岸堤防の嵩上げや粘り強い構造への改良により、津波による被害を軽減します。

古い建物や細街路が多い三保、折戸等の住宅地では、建物の耐震化・ブロック塀の撤去を促すとともに、その支援を行います。さらに今後は、延焼火災を防ぐための建物の不燃化等の推進についても協議していきます。

工業、観光、学びの拠点が浸水域に含まれるため、地域住民に加え、就業や就学による転入者、観光客などにも考慮した、迅速かつ安全な避難を促す体制づくりを、市民と行政が協働で進めます。具体的には、津波避難施設の整備及び指定の拡充を進めるとともに、学生等の転入者、三保の松原や羽衣の松を訪れる観光客にも分かりやすい津波避難施設・避難路となるよう整備を進めます。

また、高齢者の占める割合が多い地域であるため、高齢者福祉施設等における津波避難訓練などの災害時要配慮者を対象とした取組も積極的に進めます。

■地域で行う事業・事務

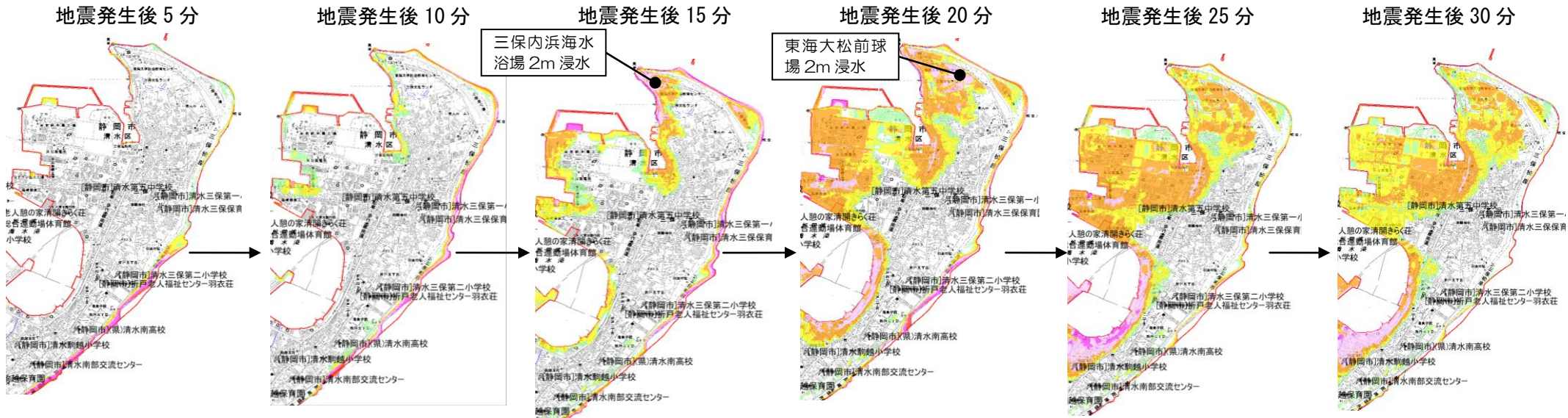
方針	事業	事業内容	実施時期	取組主体
方針-1 津波被害を確実に減らす	レベル1 津波に対する津波対策施設の整備	清水海岸の高潮対策事業	短期	県
		清水港海岸保全施設整備事業	短期	県
	津波到達までに閉鎖可能な津波対策施設の整備	清水港海岸保全施設整備事業	短期	県
	海岸保全施設（海岸防災林）の整備	松くい虫防除事業	実施済(維持)	市
	津波対策施設の耐震化	清水海岸の耐震対策事業（海岸堤防）	短期	県
		清水港海岸保全施設整備事業（海岸堤防）	短期	県
	津波対策施設と港湾の防波堤の粘り強い構造への改良等	清水海岸の高潮対策事業（海岸堤防）	短期	県
		清水港海岸保全施設整備事業（海岸堤防）	短期	県
方針-2 地震・津波に強い構造のまちづくり	住宅の耐震化の促進	木造住宅耐震補強事業	短期	市・市民
	特定建築物の耐震化の促進	住宅・建築物耐震診断補強計画策定事業 建築物耐震補強事業	短期	市・市民・事業者
方針-3 確実かつ迅速に早期避難ができる体制づくり	家庭内の地震対策の促進	家具固定推進事業	短期	市・市民
		静岡市津波避難計画策定事業	短期	市
	各種計画の作成	災害予防計画	実施済	市
		防災知識の普及計画	短期(維持)	市
		防災訓練計画（公立学校と地域の連携）	実施済(維持)	市・地域
	新たなハザードマップの整備の促進	ハザードマップの作成・配布	実施済	市
	災害時における避難行動の理解の促進	津波避難行動の理解の促進	短期(維持)	市・市民
		沿岸部市立小中学校津波避難教育事業	実施済(維持)	市
	各種防災訓練の実施	津波避難訓練の充実・強化(市・自主防災組織)	実施済(維持)	市・地域
		障害福祉サービス事業所に対する津波災害等の対策に関する指導及び助言	実施済(維持)	市・事業者
		社会福祉施設の非常災害への対応の強化	実施済(維持)	市・事業者
		津波避難訓練の充実・強化(高齢者福祉施設)	実施済(維持)	市・事業者
		地域防災訓練計画（自主防災組織、小・中学生）	短期(維持)	市・地域
	避難誘導に関わる設備の設置	避難誘導標識、誘導灯、避難地看板の設置事業	短期	市
		避難路整備促進事業	短期	市
	津波避難施設の拡充	津波避難施設空白地域の解消	短期	市
		津波・高潮危機管理対策事業	実施済	市
		津波避難施設整備事業	短期	市
		津波避難ビル追加指定事業	短期	市・事業者
	災害時の情報伝達体制及び情報提供体制の強化・促進	災害時情報伝達の強化・促進	短期	市・市民
		災害情報提供体制の強化	実施済	市
		災害情報受信体制の強化	実施済	市

方針	事業	事業内容	実施時期	取組主体
方針-4 自助・共助の促進	自主防災活動の促進	防災資機材等購入費助成事業	実施済(維持)	市
		災害ボランティアセンター立ち上げ訓練	実施済(維持)	市
	地域防災力向上のための人材育成	地域防災リーダー育成事業	実施済(維持)	市・地域
		自主防災組織に対する男女共同参画の啓発	実施済(維持)	市・地域
		災害ボランティアコーディネーター入門講座	実施済(維持)	市・市民
	避難所の設備と運営体制の充実	生涯学習交流館の非常用自家発電設備設置事業	短期	市・事業者
		福祉避難所の非常用自家発電設備設置事業	実施済	市・事業者
		避難所運営体制の整備事業	短期(維持)	市・地域
	緊急時物資備蓄の促進	避難所における必要物資の確保	短期	市
		市民の家庭用備蓄の促進（食料・水）	短期(維持)	市・市民
		事業所の緊急物資備蓄の促進	短期(維持)	市・事業者
		市の緊急物資備蓄の促進	実施済(維持)	市
		耐震性貯水槽設置事業	実施済	市
	災害時要配慮者向けの避難対策	想定津波浸水域にある病院の避難計画の策定の支援	実施済	市
		在住外国人のための防災訓練の実施	短期(維持)	市・市民
		津波避難訓練の充実・強化(高齢者福祉施設)	実施済(維持)	市・事業者
		多言語化・やさしい日本語による表示	実施済(維持)	市
		民間保育園耐震化事業	短期	市
方針-5 被災後の立ち直りを早くする	要配慮者施設の避難所としての機能強化・運営体制の整備	児童相談所「災害時の子ども支援マニュアル」の策定	実施済	市
		こども園災害時用資機材整備事業	実施済(維持)	市・事業者
		「福祉避難所運営マニュアル」の策定と運営体制の整備	短期	市・事業者
		福祉避難所機能強化事業	実施済	市・事業者
	緊急輸送路の確保	緊急輸送路確保計画検討事業	実施済	市
		緊急輸送路等整備事業	短期	市
		ブロック塀等耐震化促進事業	短期	市・市民
	被災後の迅速な復旧の促進	被災者の住宅の確保対策	実施済	市
		中小企業の事業継続計画策定に関する支援	実施済	市・事業者
		地籍調査業務	短期	市
		静岡市文化財課所蔵資料移転事業	実施済	市
		静岡市いのちを守る防災・減災の推進に関する条例	実施済	市
		静岡市都市復興基本計画策定行動指針	実施済	市
		静岡市震災による被災市街地復興整備条例	実施済	市

：平成 28 年 3 月時点で数値目標達成済みの事業・事務（現状の維持を目標とするものは除く。）

■《静岡県4次地震被害想定における津波浸水シミュレーション※》

静岡県第 4 次地震被害想定（レベル 2 の地震・津波）（南海トラフ巨大地震（地震動：基本ケース、津波：ケース①））



【津波浸水の特徴】

- 地震発生 の 15 分後には、三保内浜海水浴場周辺で浸水深 1m 以上の地域が発生する。
- 地震発生 の 20 分後には、沿岸部の工業地帯で浸水深 1m 以上の地域が拡大する。
- 地震発生 の 25 分後には、折戸湾内湾周辺で浸水深 2m 以上の地域が拡大する。

【凡例】

